

新聞雜誌

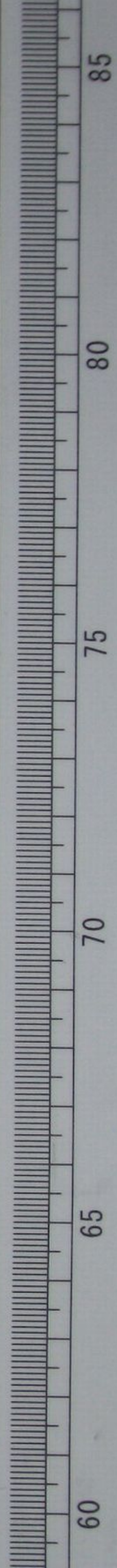
明治辛未五月

第一號

定價二匁



西垣文庫 特
文庫 10
7304
1





新聞雜誌第一

明治廿二年三月

○二月中 皇后ノ宮東京城内吹上ノ御苑ニ於テ親
 ラ蠶ヲ養ヒ玉ハントノ御事ニテ上州岩鼻縣ニ命アリ
 テ蠶桑ニ事習レタル女四人ヲ差出スベキ旨ヲ仰下サ
 ル三月七旬ニ四人ノ女撰マレテ出京シ御苑内ニ伺候
 シ蠶桑ノ業ヲ教ヒ奉レリ

○徳川氏ノ時東京市中ニ錢リシト唱ヘ人家ノ店先ナ
 ドヲアラシ尤粗暴ノ行ヲナセシモノアリシガ近來ハ
 其患少ク市中ヒ至テ穏ニ成リシ由ナリ偏ニ區兵等ノ

新聞雜誌第一

緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞セサルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキハナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑懼ムク多ク竟ニ我ヲ
 是トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハ辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノサマヲモ知ラテ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カタキ世ニ生レシカヒ
 ナシ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始メ諸府藩縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞ニ見聞ニ隨ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新ヲ開クノ樂ヲ同シ頑ナル心僻ナル事ヲ棄ントラナリ願ハ此冊子
 ヲ讀モフ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ナル驚可ク
 喜可キ事多ク唯一隅耳ヲ見ルハ田舎人タルヲ免レス夏虫氷ヲ疑ノ笑有リト知
 玉一サテテノ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルニ負カシト云ヘケレ



取締行届キタルヨリノ了ト見エタリ此上押込暗殺等ノ患全クコレ無キヤウ有タシ又市中ノ人モホリスリホストハ市中見廻ノ大効アルヲ知リ官ノ費用ヲ取締リノ役ナリケズシテ各々自カヲ以テ其保護ヲナスヤウニ有リタキモノナリ

○三年前朝鮮國ニ於テ米利堅人數人ヲ掩殺シタリ今年米利堅ヨリ其事ノ始末ヲ問糺シ償金ヲ出サシメ且其沿海ヲ測量セントテ水師提督ロツシルスヲシテ軍艦數艘ヲ從ヘ朝鮮ニ至ラシム當時談判家中ノ由外國人ノ話ニ朝鮮極テ頑固ノ國ナレバ事必ス調ハズシ

テ戦争ニトルベシト云ヘリ横濱新聞ノ中ニ云フ米利堅人害ニ逢ヒシ頃同ジク米國ノ船破船セシニ朝鮮人ヨリ仁慈ノ手當ヲ受ケシ慰アレバ米人ヨリ之ヲ謝セサル可カラズト

○三月八日比三州刈屋邊ニ於テ一向宗ノ僧徒等土民ヲ煽動シテ一萬餘ノ衆ヲ集メ蜂起シテ官吏四五人ヲ殺害セリ其近方ノ諸藩ヨリ兵ヲ出シテ之ヲ取圍ミ終ニ銃器ヲ用ヒテ稍ク鎮定ニ及ヒシ由ナリ

○我邦ヨリ輸出スル生糸ハ交易第一ノ産物ナルニ昨年横濱ニテ生糸ニ屑糸下品糸ヲ内ニ包ミ上好糸ヲ以

テ外ヲ飾リ外國人ヲ欺キ賣却セシヨリ日本ノ糸ハ用
ヲナシガタシトノ説ヲ外國ノ新聞紙ニ刊行セシ由ニ
テ一昨年ハ金一兩ニ生糸目方二十二三匁替ノ處昨年
ハ十八匁マテ騰貴セシニ今年ハ大ニ下落シ四十匁ニ
テモ賣レザル由ナリ近來開港場モ漸ク繁盛ニ赴キ生
産ノ道モ次第ニ開ケタルニカ、ル不正ノ事ヲナシテ
國益第一ノ輸出品ヲ害スルノミナラズ外國人ノ侮ヲ
受ケタリ是ワツカナル一時ノ小利ヲ貪リ却テ自ラ永
世生活ノ業ヲ失フナリ其智慮ナキヲ甚シト云フヘシ
是侘ナガラ元方ノ者ノミノ罪ニ非ス横濱ノ商人正當

ノ高業ヲ心ガケザルノ致ス所ナリ右ノ故ヲ以テ春來
官ヨリ佛蘭西人ヲ雇ヒ入レヒ野富岡ニ製糸場ヲ設ケ
ラル、ト云ノ

○今春 朝廷ヨリ各藩ニ命アリテ大參事以下一人或
ハ二人宛外國游学ノ為メ差遣ハサル可シトナリ其人
貞五月三日ノ飛脚船ニ乘組横濱ヨリ出帆シ米利堅ヨ
リ歐羅巴諸國ヲ經歷シ一年ニシテ歸國ノ由ナリ其人
負姓名ハ未タ詳カニ知ラレス

赤穂藩復讐ノ事

赤穂ノ藩士ニ山下銳三郎西河邦ニ吉田宗平山本隆也

ハ水源右衛門田河運六トイフ者イカナル遺恨ニヤ同藩士村上真輔トイフ者ヲ過ル午ノ十二月九日ノ夜同處ニ於テ欺殺ニ及ヒ其儘知ヌ體ニ打過居タリシヲ真輔忤六郎トイフモノ痛ク父ノ横死ヲ悲歎シ復讐ノ願念ヤルカタナク種々手掛リヲ詮義シケルニ讎ノ者共曉リケン竊ニ六人打連テ紀州高野へ志シ姿ヲヤツシテ逃レケルヲ流石ニ六郎心付キソノ行方ハ索リタレト何分讎多勢ナレハ一人ニテハ思東ナク其親族ニテ血氣アル村上四郎同行藏池田農夫也津田勉トイフ四人ノモノニ助太刀ヲ頼ミ又其友ニ水谷嘉一郎トテ

テ劍術ノ仲間ナルヲ同ク頼ンバ人数ニ加ヘ都合六人出立シテ今春二月廿九日紀州伊都郡西郷村ト云フ所ニテ漏サズ讎六人ヲ打取リタリトゾ
 ○近來米利堅政府ノ勸農局ニテ開板セシ書中ニ日本開港以來已ニ年數ヲ經タレモ農業ノ學未ダ開ケズ又支那ハ固陋ノ國ニテ教導ス可カラズ活字版人造硝石航海術磁石取扱等ノ一ハ修行ノ為メニ遠ク歐羅巴マデモ人ヲ差越セドモ人世第一ニ刻苦勉強シテ修行スベキ根本タル農業ノ務ハ更ニ知ラズト云ヘリ
 ○米利堅ニテ農業ノ器械ヲ發明シテ農學大ニ開ケ今

日ノ盛ニ至リシハ西洋ノ千八百三十年後ニテ今ヨリ
四十年以前ヨリノコナリ 我邦ハ第一農ヲ以テ本ト
スル國ナルニ舊習ニ安ンジテ農學更ニ開ケザルハ可
惜ナラズヤ

○東京市中諸職人ノ中當時尤盛ナルハ車服洋服ノ仕
立屋ナリ尤衰ヘタルハ駕籠屋ナリ

○東京人力車發明ノ當分ハ駕籠商賣ノ者トモ種々ヤ
カマシク云ヒ車引ヲ見テハ罵リソシリタリシニ當今
ハ人力車ノ數日ニ増シテ二萬五千ニ至レリ以前駕籠
總數ハ一萬位ノヨシナリシニ今ニテハ五十人ノ渡

世増ニナリタリ其上以前ノ駕籠モ三分一ハ猶殘リ居

ルヨシナリ偏ニ車ノ下直ナルト路ノ捷キトニヨル
ニテ以テ器械ノ効力ノ見ルベシ

○三月中華族愛官其外數十人捕縛セラレタル由

○三月中旬久留米藩知事彈正臺ニ於テ何カ糾弾ノ事
有之其後却内ニテ謹慎ノヨシ

○近日 官ヨリ米利堅人ヲ雇ヒ駒場ニ於テ種藝技藝
ノ業ヲ始ムルノ舉アリト云フ

○外國人ノ説ニ 日本人ハ性質總テ智巧ナレ氏根氣
甚乏シ是肉食セザルニ因レリ然レ氏老成ノ者今俄ニ

肉食シタレバトテ急ニ其驗アルニモ非ズ小兒ノ内ヨ
リ牛乳等ヲ以テ養ヒ立テ十ハ自然根氣ヲ増シ身体モ
随テ強健ナルベシト

○牧畜ハ草ヲ撰フテ要務ナリ英吉利米利堅人等ハ
我邦雜草ノ内ヨリ佳種ヲ撰ミ自國ニ持歸ルヨシナリ

佛蘭西ノ事

四月廿二日橫濱ニテ出板スル新聞紙ニ曰ク佛蘭西ニ
テアスセムブリール政府トコムニエシ賊徒黨四十ノ
争ヒ未タ止マス二月中賊徒巴理ヲ攻取ラントシテ打
負タリ又マイサイルニテ戦争シ賊徒敗レタリ巴理ノ

醫學校エコールトマシジン及ラツベル局ニ於テ若干
人集會シ此兩黨ノ間ニ和議ヲ容レント謀レリ巴理十
他所トノ通路ハ絶ムハキ勢ナリ

魯西亞ノ事

四月廿六日橫濱ノ新聞紙ニ魯西亞何ノ故ニヤ海陸軍
備ヲ嚴ニシ波蘭及ヒ奧地利ニ接スル地ニ二十萬ノ兵
ヲ集メ又十五萬ヲ鐵路ノ道筋ニ備、何時モ戰地ニ出
ツベキ準備ヲ為シタリ其兵式武器等皆普魯士ニ仿ヘ
リ黑海ニ在ル海軍上陸ハクリメヤ戦争ノ後三ブリク
ードニ減ジタリシニ今復増シテ十二ブリゲード
五千

人ニ至レリ此兵ハセバストボルノ城ヲ築キ終ルベテ
 ニコライフニ留ルベシ且甲鐵艦ヲ造ル諸品ヲ英國ニ
 誂ヘ既ニ三ヶ月前調達シ海軍カビテン三人ニ命シニ
 コライフニテ之ヲ製造シ又ホンテリート号スル船ヲ
 甲鐵ニ為サシメタリ

○印度海傳信機ハ當五月中ニハ長崎マテ成就シ太平
 海及我邦内地ノ分ニ當年中ニハ出来スベキヨシナ
 リサスレハ傳信線全地球ヲ周回スト云フ

○横濱ヨリ東京マデノ鐵道當年中ニハ成就スト云フ
 ○四月上旬薩州ヨリ御親兵三大隊外ニ砲兵著京セリ

○四月中旬山口藩ヨリ昨午大阪兵部省ニ差出セシ御
 親兵一大隊著京セリ

○由安門内ニ步兵屯所築造ノヨシニテ當節煉化石ヲ
 持チ運ビリ

膳所藩士族歸農ノ事

四月中旬ノ頃膳所藩士族一統ヨリ同藩知事へ歸農ヲ
 願出テシトイフ其願書ノ畧ニ云フ 我國方今外國ノ
 駢立シ國基ヲ振起スベキノ時節ニ有之譜代ノ恩波ニ
 浴シナガラ徒ニ舊習ニ糊著シ妄ニ國業ヲ坐食センコ
 イカニモ今日ノ士職ニ非ス因テ今般申合セ永祿ヲ還

シ農伍ニ入り耕作或ハ開墾等ニカヲ竭シ身分各々ノ
 職務ヲ舉ケ經國萬一ノ裨益ニ供セント云々右同藩知
 事ヨリ 朝裁ヲ願ヒ 朝廷ヨリ既ニ允許ノ命下リシ
 ヲシ是ヨリ先キ苗木三田ノ二藩既ニ此舉アリ皆本ヲ
 知り末ヲ謀ルノ先見大小列藩ノ倡魁タルニ是ランカ
 ○今般九亀藩ニテハ藩ヲ罷メテ縣トナスノ官許ヲ請
 ヒ取り知事ヲ始メ諸官員并兵額ニ至ルテ其法則悉
 シ諸縣ニ比例シ自餘ノ士卒族ハ大抵歸農セリト云
 ○淺州邊ニ夫ハ髮結ヲナシ妻ハ衣類ノ洗濯ナドヲ渡
 世トシテ暮セシモノ十二三歳ノ男子アリケルニ洋書

ヲ學バヒシトハ必親母ヨリ淺州ヨリ人學南校ニテ
 男子ヲ連レテ通シシカ後ニハ男子モ一人ニテ往來ス
 ルニ至レリト云ノ親タル者ハカクソ有度モモノ
 ナリ都トニハ間々女子トニ婦人ノ業ハ教ヘムシテ
 三味線歌舞ナドヲ習ハヒ終ニハ娼妓或ハ妾圍物等ノ
 賤シキ淨タル業ヲナシシメ當然ノ丁ノヤウニ思テモ
 ノモアルヨシ豈親ノ忍ブヘト情ヲランヤ
 ○全國戶籍調規則三十三條被仰出尤來ル申ノ二月
 コリ五月ヲテノ間ニ取調以後ハ六年目毎ニ相改マル
 ヲシ

○四月中平民乘馬ノ御免アリ
 ○四月中東山道西海道ニ鎮臺ヲ置クノ命アリ東山道ハ石巻ヲ以テ本營トシ盛岡福島ヲ分營トシ西海道ハ小倉ヲ以テ本營トシ日田博多ヲ分營トス
 ○清國ノ御使節五月十八日ヨリ發スル由人名未タ詳ナラス

○朝鮮ノ米利堅ト先月中既ニ戰爭相始リシヨシ上海ヨリ新報アリ詳トルハ第二號ニ記スベシ

新聞雜誌第一號終

撰者伏テ四方ノ君子ニ告ケ奉ル本局既ニ官許ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス其旨意ハ前ニ述ル所ノ如シ但奇事異聞耳目ノ及ハサル處多シ願ク同好ノ人何事ニヨラス其處々ノ新聞ヲ書集メ本局及ヒ下ニ列スル賣弘處ニ寄セ玉ハ次第ニ刊行發兌スヘシ又新發明ノ巧器及書籍品物一切賣買ノ弘ノ等望ニヨツテ出板スヘシ但寄玉フ書付ニハ其任處姓名ヲ必ス載セ玉フ可シ無名ノ書ハ敢テ采入セム無根ノ浮言造説アルヲ恐ルナリ

望ニヨツテ出板スル事件

- 一 田地山林家屋舟車等ノ賣買貸借
- 一 產物器具食品藥劑等一切ノ賣買
- 一 諸船人湊出帆積荷ノ物件等
- 一 店ヒラキ新規賣出等ノ引札
- 一 觀セモノ集會等ノ引札
- 一 金銀其外ノ貸借等
- 一 失物尋物等
- 一 職人雇入奉公人望等
- 右等何レモ一行廿三字價三匁宛ニテ引受出板イタシ候

新聞雜誌定價

一 一號定價銀二匁 當分一ヶ月三號宛出板

一 一ヶ月分引受候向公定價ヨリ一割引

一 六ヶ月分ハ二割引

右定通約定ノ上本局又ハ賣弘處ヨリ相渡申候遠方取次賣弘方望ミノ
人ハ本局へ引合ノ上御相談可申候

一 三ヶ月分ハ一割半引

一 一ヶ年分ハ三割引

本局

東京小川町今川小路

日新堂

賣弘所

同兩國横山町三丁目

和泉屋金右工門

同日本橋釘店

和泉屋壯造